

IBMは、野洲事業所の工業団地化 路線をやめよ！

IBMは、地元経済に責任をもて！

か い な
号 外
(2003年10月24日)
JMIU日本IBM支部
野洲分会
責任者 北川定

リストラに反対し、雇用と仕事を守ろう！

- ・サンミナSCIは転籍を強要するな
- ・IBMに帰任した社員に、本人の希望を尊重した新しい職場を提示せよ
- ・YSC、日立GSTへの「移籍」を出向に戻せ

意見は、組合ホームページ <http://www.bekkoame.ne.jp/i/jmiu-ibm>

組合e-mail jmiu-ibm@i.bekkoame.ne.jp までお寄せください

組合活動への妨害行為に断固抗議

10月9日(金)17時45分、北川組合員がサンミナSCI内で組合機関紙を机上配布していたところ総務のT氏が来て、いきなり拳で北川組合員の肩に一撃を与えました。昨年の6月にも一度、IBM野洲人事が組合員に対して暴力事件を引き起こすことができました。暴力は就労規則上でも、また、一般のルール上でも許されることではありません。このような暴力行為は組合活動に対して『不当労働行為』として法律違反行為です。

この野洲事業所内では、職制が当然のこのようにして暴力を振るい、組合活動を封じ込める行為を繰り返しています。組合は、この工業団地となった内部で行なわれている退職強要、転籍強要などに強く抗議をし、人権侵害であることを社員のみなさんに訴えてきています。そうした中での暴力事件です。とてもまともな事業所とは思えません。

IDT帰任者の現状

YSLにOJTに出ていた5名が10月1日に異動が実現せずに戻ってきました。従い、野洲の帰任1期生はまだ17名の異動が実現していません。

同じく2期生として野洲では14名が帰任しました。更に、年末までには大和、野洲合わせておおよそですが、70名のIDT出向社員が

帰任する見込みです。SLCで京セラへの転籍を拒否した20数名も同様ですし、今後もサンミナSCIからの帰任が発生することが予測されます。このような多数のIBM帰任者に職場と仕事を与えるのは会社の責任です。

今まで第二SPを率いていたY氏が10月1日付けで新しい業務に異動していきました。遭難した船でも船長が最後まで残るといふのになんと言う無責任なことでしょう。しかも仕事のない者のPBC評価はDにすると言い置いています。このような会社の無謀さ、無責任さに対して、憤りを感じます。

組合掲示板について

健康管理室前(1号ビル2階社員ルーム前)に組合掲示板が設置され、組合情報を掲示しています。